

東京大学での所属学部/研究科(教育部)・学年(プログラム開始時): 経済学部経済学科四年

参加プログラム: 全学交換留学

派遣先大学: エコール・ポリテクニーク

卒業・修了後の就職(希望)先: 3.公務員

派遣先大学の概要

フランスの理工系グランゼコール(フランス特有の高等教育機関)。国防省が管轄。

留学した動機

経済学を数学的な視点で学ぶため、フランス語力を向上させるため

留学の時期など

- ①留学前の本学での修学状況: 西暦[2014]年 学部 [3]年の[夏]学期まで履修
- ②留学中の学籍: 留学
- ③留学期間: 2014年 8月 ~ 2015年 7月 学部[3]年時に出発
- ④留学後の授業履修: 西暦[2015]年 学部[4]年の[S1]学期から履修開始
- ⑤就職活動の時期: 西暦[2015]年 学部 [4]年の[8]月頃に(行う予定)
- ⑥本学での単位数: 留学前の取得単位[56]単位 留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位[55]単位
留学後の取得(予定)単位[32]単位
- ⑦入学・卒業/修了(予定)時期: 西暦[2012]年 [4]月入学 西暦[2017]年 [3]月卒業/修了
- ⑧本学入学から卒業/修了までの期間: [5]年[0]ヶ月間
- ⑨留学時期を決めた理由: 専門が既に決まっている・就職活動の時期に重ならない

留学の準備

- ①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
事前に履修を登録する必要があるが、事前に送られてくる授業リストは漏れが多いので、現地で確認した方がよい。
現地での履修変更は可能。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
学生ビザをフランス大使館に申請。手続きにかかった時間は正確に記憶していないが、できるだけ早めに始めた方がよい。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)
健康診断書と数種の予防接種が必要。書類のフォーマットや予防接種の種類は学校から指示。
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
TIP JAPAN のフランス留学プランを使用。
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
通年科目(ゼミ)の単位分割申請。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
出発前の時点では、DALF C1 の語学レベルだった。
- ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
専門科目の日本語の教科書。院レベルのもの。

学習・研究について

- ①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)
※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったものに●をつけてください。
 - マクロ経済
 - ミクロ経済
 - プログラミングとアルゴリズムの基礎
 - 計量経済学

- アルゴリズムのデザインと分析
- 国際経済
- 並行と分散コンピューティング
- 環境多様性
- ビジネスと経済
- プログラミング上級
- ビッグデータ

TCF（フランス語の資格試験）対策

中級英語

中級フランス語

版画

デッサン

ロッククライミング

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

予習として教科書を読み、復讐として授業で扱った演習問題を見直した。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

主要科目より3科目、スポーツが必修。週あたり授業時間最低 10.5 時間。授業以外の学習時間は週 15 時間ほど。

④学習・研究面でのアドバイス

内容は日本の院レベル、また数学を多用するので、日本でよく予習しておくとい。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

英語は通じるもののフランス語に堪能であることが前提で、最初は授業を聞き取ることもままならなかった。留学前に、フランスのニュースやラジオで勉強しておくとい。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

学校が用意してくれる、構内の寮。必修であるスポーツの授業で、選択した種目により住居がわかれている。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

気候は日本より少し涼しい。大学周辺は、何もなくて不便だが、治安はよい。交通機関はバスと電車。

食事は学内に一軒のみのレストランか自炊。お金について、口座を開設すると自動的にクレジットカードを渡されるので、それで管理。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

大学周辺の治安は大変よい。病院までのアクセスはやや悪く、学内のクリニックも開いていないことが多い。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

家賃 430 ユーロ、食費・交際費 200 ユーロ、雑費 200 ユーロ、計 830 ユーロ

・留学に要した費用総額とその内訳

航空賃往復 2400 ユーロ、帰国時荷物送料 600 ユーロ、旅行など娯楽費 3000 ユーロ

生活費と合わせ総額 14300 ユーロ

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

業務スーパージャパンドリーム財団奨学金、月 15 万円、東大のホームページより

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

ロッククライミングセクション、ミュージカル部、チョコレート部に所属。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

なし

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC 環境等)

図書館は蔵書数が少ない。スポーツ施設は無料で使え、非常に充実。食堂あり。PC 室はあるが、授業以外で使うことができるかは不明。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

外資系企業のインターンへの応募時期が、帰国時期と重なった。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

以前は企業の知名度や人気度に左右されがちだったが、留学中に、他の学生たちの就職活動を見て、自分に本当に

あった企業を探したいと考えるようになった。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

インターネットを通して、また日本にいる友人を通して情報を集める。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

1.研究職 2.専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) 3.公的機関(機関名:)

4.非営利団体(団体名又は分野:) 5.民間企業(企業名又は業界:)

6.起業(分野:) 7.その他()

留学を振り返って

①留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

未知の世界にたった一人で飛び込み、最初は苦労したが、知らないコミュニティに入り込む度胸と、コミュニケーション力が身についた。勉強面では、経済学を専門としない学生たちが、自分が今まで学んだことより遥かに高度な内容を理解していく様子に刺激を受けたことと、プログラミングを学んだことが、大きな収穫だった。

②留学後の予定

東京大学での授業履修と就職活動。

③今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

思い切って、現地の学生の中に飛びこんでいって下さい。そして、仲間として認められるようになるまで頑張ってください。自分たちの文化と価値観を尊重し、溶け込もうと努力する人間に対し、人は案外寛容です。そうした交流を阻む語学の壁は、留学前にできるだけ取り除いておくことをお勧めします。

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。